

MAGAZINE RACK

壁厚ニッチ収納 [マガジンラック]

施工説明書

必ずお読みください

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム 中部営業チーム	TEL (087) 806-3660 TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3645 FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

施工される方へ 施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合については当社での保証はいたしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。



キズ注意

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。



テープ禁止

粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を化粧面に貼らないでください。

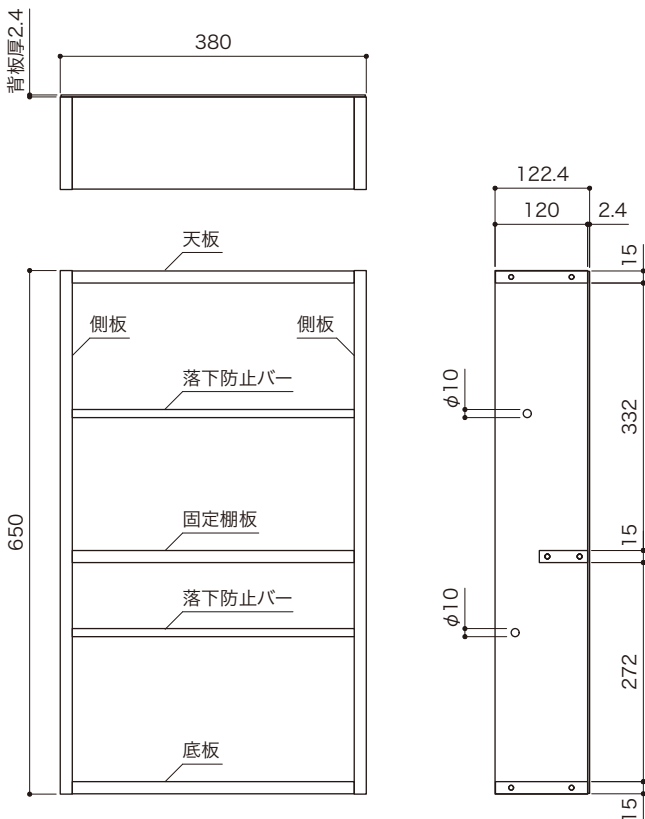


溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

製品図面

寸法単位: mm



■仕様表

天板・底板・固定棚板・側板
基材=集成材 表面材=MDF 表面=特殊硬化コート紙 (EBコート仕様)
背板
基材=合板 表面=特殊硬化コート紙 (EBコート仕様)
落下防止バー
材質=アルミニウム

パーツセット明細

寸法単位: mm

以下のパーツが全て揃っているかをご確認ください。

側板 	天板・底板 	固定棚板
左右各1枚	各1枚	1枚
背板 	落下防止バー 	ビスキャップセット
1枚	2本	4セット ビスL=65 ビスキャップ ワッシャー

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級表示

製品名: マガジンラック
製造者名称: 南海プライウッド(株)
発散区分: F☆☆☆☆
住宅部品表示ガイドラインによる
ロット番号: 製品梱包に記載

-構成材料-

内装仕上部分	
ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
合板	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

ご注意 この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先: 品質保証グループ 087-894-8025

施工前の準備

寸法単位:mm

施工に必要な道具

- 電動ドライバー
- タッカー
- プラスチックハンマー

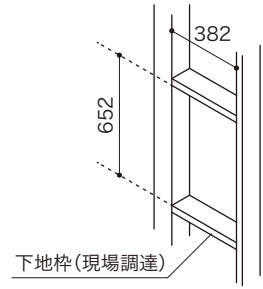
施工に必要な材料(現場調達)

- タッカー(ステープル幅4mm)または釘
- 接着剤(酢ビ系木工用)

本体設置場所に下地枠(現場調達)を取り付けます。ボックスの高さを考慮し、使用しやすい位置に製品がくるように、床面から上げる高さを調整してください。

注意

- 下地枠の垂直・水平を下げ振りや水準器でご確認ください。
- 「据え置き」「直付け」での施工は行なわないでください。

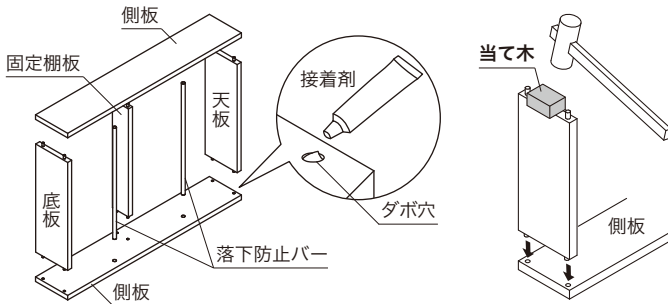


施工手順

寸法単位:mm

1 本体の組み立て

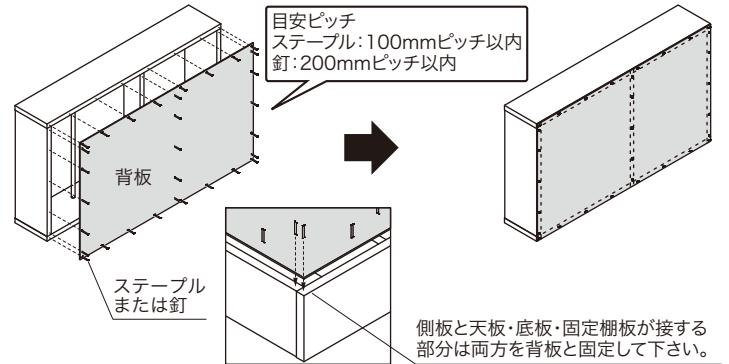
- 1** 水平な場所に側板を置き、ダボ穴に接着剤を塗布し天板・固定棚板・底板を当て木をして挿入します。もう一方の側板も同様に挿入します。落下防止バーは接着剤を塗布せず、ダボ穴に挿入してください。
※天板・底板に仕様の違いはありません。
また、裏表も違いはありません。



注意

本体の組み立て時には必ず当て木を使用してください。

- 2** 背板を本体(側板・天板・固定棚板・底板部分)にステープル(現場調達)または釘(現場調達)を本体背側から打ち、固定します。
※ステープルは100mmピッチ以内、釘は200mmピッチ以内での固定が目安です。

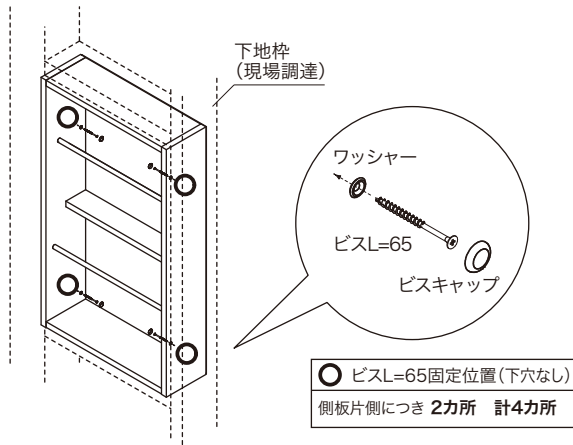


注意

- タッカーのエア圧が強すぎたり、ステープルが深く入りすぎ、背板を貫通し、背板が取り付けられない場合があります。背板取り付け前に、必ずエア圧、深さ調整を行なってください。
- 本体設置後に背板の固定はできません。背板が充分に固定されていることを確認してから、本体設置を行なってください。

2 本体の取り付け

本体設置場所に取り付けた下地枠(現場調達)内に本体を設置します。設置後、本体内部よりビスL=65で下地枠(現場調達)に固定し、ビスキャップを取り付けます。



注意

- 躯体に固定する前に、本体上下方向を確認してから取り付けてください。
- ボックス組み立て時の接着剤が完全に乾燥してから本体を下地枠に固定してください。

